医療法人社団浅ノ川
浅ノ川総合病院 広報誌
ASANO CHANNEL

あさのちゃんねる

vol.34
2020年 夏号
（年4回発行）

特 集

「安心安全な分娩と子宮内膜症の治療」

産婦人科部長
明星医師インタビュー

連携登録医のご紹介

アンジュレディースクリニック

院長 早稲田 智夫 先生

病院の理念　救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

- 【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。
- 【救急医療】断らない救急医療を目指します。
- 【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。
- 【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。
- 【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

特集 産婦人科部長インタビュー

安心安全な分娩と子宮内膜症の治療

当院の産婦人科は総合病院のメリットを生かし、万全のサポート体制を整えています。「安心・安全な分娩」について産婦人科医である明星医師にお話をお伺いしました。また、増加傾向にある子宮内膜症についても解説します。

科の壁を越えて連携し、妊婦さんをサポート

当院の産婦人科は「安心して臨める出産」を目指し、万全の体制を整えています。妊婦さんは容体が急変することがあり、緊急の対応を迫られることもめずらしくありません。当院には私を含めて常勤医が2名おり、麻酔科医も常駐しているため、緊急時には手厚い体制での手術が可能です。帝王切開では全身麻酔の管理が必要ですが、産科医と麻酔科医によるチームで手術をすることでより安全性が高まります。現在、金沢にある中規模の総合病院で、2名以上の常勤医がいる産婦人科は数少ないのではないでしょうか。

また、他科と連携した診療ができることも総合病院ならではの強みです。当院には「てんかん外来」があり、てんかんの持病を持つ妊婦さんが多く出産されています。妊娠すると一般的に循環血液量が増え、体内の薬の濃度が薄くなるため、てんかんの患者さんは定期的に血液検査をして薬の量を調整しなければなりません。ストレスがかかる分娩時にはてんかんの発作が起こりやすく、それにも配慮した分娩体制が求められます。当院ではてんかんが専門の脳神経内科医と連携し、日々の服薬管理から分娩時の発作までチーム医療で対応しています。妊娠時の合併症としては妊娠糖尿病も増えており、分娩時には血糖値が変動しやすいため、糖尿病の専門医と連携して血糖管理をしています。妊娠糖尿病は妊娠時の一時的な糖尿病ですが、将来的に慢性的な糖尿病に移行するリスクがあります。母乳育児によりそのリスクを減らせるため、1年間の継続を指導しています。当院は中規模の総合病院であり、全科の医師が総合医局に所属しています。診療科の壁を越えてコミュニケーションが取りやすく、専門医が協力して質の高い医療を提供しています。

産婦人科部長

明星（みょうじょう） 須晴（すばる）

日本産科婦人科学会専門医

趣味

クラフト（小物づくり）

健康法

腹筋・背筋を鍛える軽いトレーニング

座右の銘

初心忘るべからず

診察日

月～金曜の午前

バースプランを立てて お産の希望に寄り添う

産科センターの取り組みとして、妊婦さん向けのさまざまな教室を開催しています。妊娠中期には「育児教室」、後期には「出産教室」を開いて出産・育児の準備を指導しています。産後は乳房の調子を整える「おっぱい外来」や「ベビーマッサージ」の講習も用意しています。
お産は妊婦さんにとってはもちろん、ご家族にとっても人生の大きなイベントです。当院では理想のお産を考え、バースプランを立てていただき、できる限り皆さんのご希望に寄り添うようにしています。例えば、出産に立ち会ってビデオ撮影をするご家族もいらっしゃいます。コロナ禍のため、制約もありますが、現時点(2020年8月)では立ち会い分娩を再開しています。
コロナ禍で不安を抱える妊婦さんも多いでしょう。妊婦さんは免疫力が下がるため、全般的に感染症にかかりやすくなりますが、これまで報告されている論文やデータを見る限り妊婦さんの重症化例は多くありません。過度に恐れることなく、手洗い、マスクをして感染予防に努めてください。また、当院ではコロナの感染防止対策として分娩室に新しい空調システムを導入しました。スタッフ一丸となって万全の対策をしています。

進行性の病気である 子宮内膜症は早期治療を

婦人科の病気で増加傾向にあるのが、子宮内膜症です。発症原因ははっきりとわかっていませんが、生理の回数の多さが関係していると考えられています。現代女性は初潮年齢が早く、閉経年齢が遅い傾向にあり、出産回数も少ないため、どうしても生理の回数が増えてしまいます。月経時の血液が卵管を通じて腹腔内に逆流し、一緒に流れた子宮内膜の組織が子宮外に植え付けられて発育することで子宮内膜症になると言われています。症状は強い生理痛や生理時以外の下腹部の痛みなどで、不妊症の原因にもなります。年齢に関係なく罹患する病気で、生理のたびに進行します。治療法はホルモン療法と手術療法があり、年齢や出産希望、ライフスタイルによって異なるので医師にご相談ください。出産希望の女性は子宮のコンディションを整える意味でも早めの治療をおすすめします。また、子宮内膜症の中でも卵巣にできたものは卵巣チョコレート嚢胞と呼び、まれに悪性化することがあるので、定期的に経過観察をしてください。

若い人から高齢者まで 受診しやすい産婦人科へ

産婦人科は男性医師だと受診しづらいという人も多いと思います。私が産婦人科医を目指したのは女性医師を増やして、受診の壁を低くしたいと思ったからです。私にも子どもが3人います。患者さんに自分の出産経験をお話することで親近感、安心感を持っていただくこともあります。
以前は金沢大学附属病院で勤務していました。その時に担当していたがんの患者さんが今でも心に残っています。当院へ異動が決まった時、終末期を私に診てほしいと希望され、その患者さんも一緒に当院へ転院することになりました。当院の医師やスタッフの協力もあり、ご家族と一緒に最後を看取ることができました。そんなさまざまな患者さんとの出会いがあり、自分も成長できているのだと感じています。
当院には「患者さんのために」という強い思いで医療にあたるスタッフがいます。合併症があるなどハイリスクな妊婦さんも万全の体制でお産のお手伝いさせていただきます。一緒に新しい命をお迎えしましょう。

Pick UP! 外来紹介 産婦人科外来

産科外来

スタッフ全員赤ちゃんが大好きです。みんなで赤ちゃんの発育を見守り、安心・安全な分娩となるよう努めてまいります。

婦人科外来

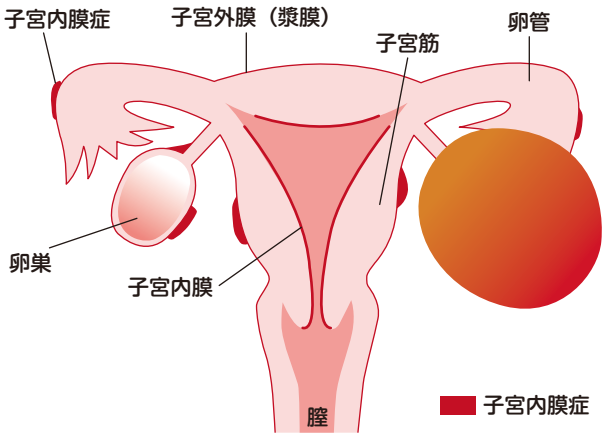
必ず触診するわけではありません。思春期の方など、お困りの点があればお話しだけでも聞かせてください。月経異常、帯下異常、下腹部痛、不正出血は婦人科として注意すべき症状です。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍や悪性疾患が原因となっていることがあります。早期発見で大きな治療に至らずに済む場合がありますので、気になる方は受診してください。

月経時痛みが強い人は要注意!! 子宮内膜症について

近年少子化晩婚化に伴い、女性が一生涯に経験する月経の回数が増加しています（多産で平均余命も短かった昔の女性は50回、現代女性は450回）。そのため患者数が増加している子宮内膜症という病気について紹介します。

子宮内膜またはそれに似た組織が何らかの原因で、本来あるべき子宮の内側以外の場所で発生し発育する疾患が子宮内膜症です。好発部位は卵巣、ダグラス窩（子宮と直腸の間のくぼみ）、仙骨子宮靭帯（子宮を後ろから支える靭帯）、卵管や膀胱子宮窩（子宮と膀胱の間のくぼみ）などで、卵巣に発生し内部に出血が蓄積するとチョコレート嚢胞と呼ばれる腫れ物ができます。稀ではありますが肺や腸にもできることがあり、月経のたびに咳とともに血が出ますという方もいます。子宮内膜症は女性ホルモンの影響で月経周期に合わせて増殖し、発生した場所で月経時に出血や炎症を起こします。そのため部位によっては内膜組織や出血が排出や除去されずに溜まり、周囲の組織と癒着をおこしてさまざまな痛みをもたらします。月経痛は子宮内膜症の患者さんの約90％にみられます。この他、月経時以外にも腰痛や下腹痛、排便痛、性交痛などがみられます。こうした症状は20～30歳代の女性に多く発症し、加齢による女性ホルモン分泌の減少を境におさまります。また、癒着や炎症により不妊症の原因にもなります。

治療法は大きく分けて、薬による治療と手術による治療があり、症状の種類や重症度はもちろん、年齢、妊娠の希望などを総合的に判断して最適な治療法を選択していきます。痛みに対してはまず、鎮痛剤を使用します。効果が得られない時はホルモン療法として低用量ピルやGnRHアゴニストや黄体ホルモン剤などを使用し、内膜症病変を減らすことで症状を改善させます。卵巣チョコレート嚢胞などの病巣部がはっきりしている場合やホルモン療法で効果のない場合は、手術を考慮します。妊娠を望んでいる場合は、病巣部のみを切除して子宮や卵巣の正常部分を残す手術を選択します。妊娠を望まない場合には、病巣のみの摘出に加えて、子宮、卵巣および卵管などを摘出することもあります。



子宮内膜症は、どの治療法を選択しても将来的に再発する頻度が高いことや、卵巣の子宮内膜症性のう胞は長い年月を経ると稀ではありますが癌化することなどから、長期にわたる経過観察が必要となります。放置するとどんどん進行する病気なので、月経痛がひどい方は一度産婦人科外来までご相談ください。

里帰り出産・立ち会い出産について

当院では里帰り出産・立ち会い出産が可能です。（2020年8月現在）妊婦さん、立ち合いの方には核酸増幅検査法（NAT）を活用して、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を行っています。

受付時間 〈月～土〉8:30～11:00 ※初診は月水金 ※土は交代制

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市三池栄町の『アンジュレディースクリニック』をご紹介いたします。

当院では、年間500件以上のお産に関わらせて頂いております。地域医療の特性を生かした外来診療、分娩様式を取り入れ地域の皆さまに支えられ開業5周年を迎えました。

安全なマタニティライフを送る為に助産師外来での保健指導を取り入れた妊婦健診を行っております。妊婦健診の目的は何と言っても「異常の早期発見、早期治療」時には入院生活を余儀なくされることもあります。その際、連携病院である浅ノ川総合病院さんのご支援を頂いております。

より良い医療の提供のために、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

クリニック外観

院長 **早稲田 智夫** 先生

アンジュレディースクリニック

診 療 科：産科婦人科
専門医資格：産婦人科専門医、母体保護指定医
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医
略　　歴：金沢医科大学大学院医学研究科修了
金沢医科大学医学部助教　産婦人科学講座
公立能登総合病院産婦人科　医長
金沢医科大学医学部講師　生殖周産期医学講座
アンジュレディースクリニック　院長

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○※	／
14:30～18:00	○	○	○	／	○	／	／

※土曜午前は13:00まで
休診日：木・土曜午後、日曜・祝日

住　　所：〒920-0809
金沢市三池栄町66番地
電　　話：076-254-5103
駐 車 場：あり
アクセス：IR東金沢駅より徒歩5分

連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

入退院支援センターのご紹介

入退院支援センターは、患者さんや関係機関の皆様と「つながる」顔として、2年前に体制を整備いたしました。当センターでは「入院支援」と「退院支援」の2つの機能で、入院患者さんの入院から退院までの支援をしております。

❶ 入院支援 ～患者さんが安全で安心して入院できる支援～

入院予約が決まった患者さんが、入院後の治療内容やスケジュールの説明を受け、理解と心構えを持って入院していただくことが「入院支援」の役割です。また、他院からの転院相談も入退院支援センターで受け付けております。

❷ 退院支援 ～入院患者さんが自分らしく地域に戻れる支援～

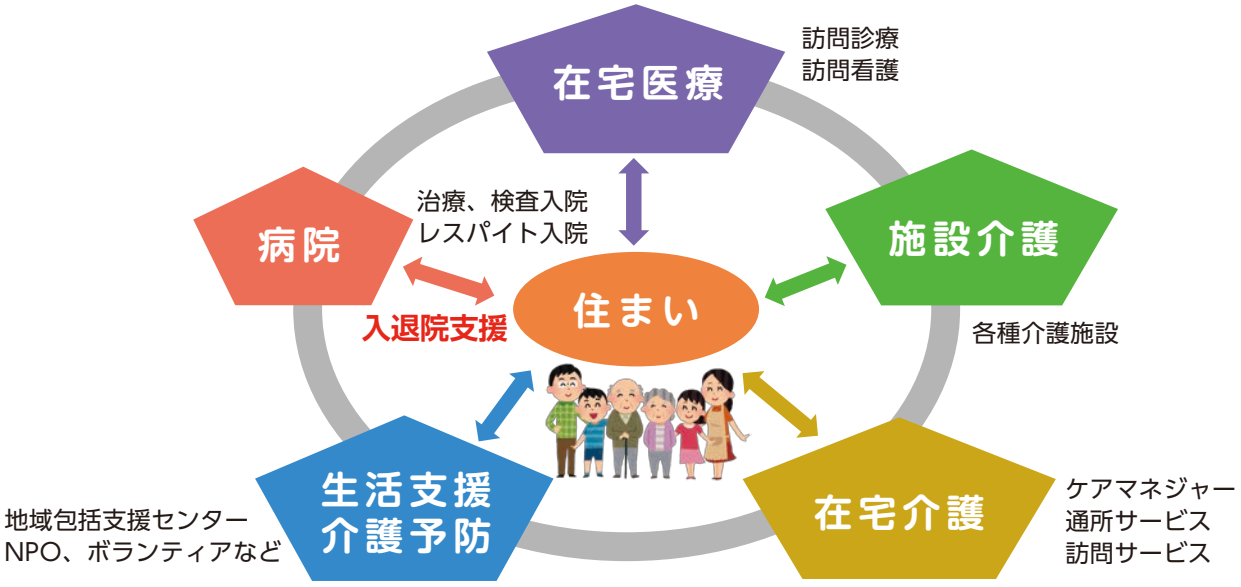
入院した患者さんが病気を抱えても、住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、医師をはじめとした多職種のチームで取り組むことが「退院支援」です。患者さんの入院早期から、病状変化や状況に応じた課題に対して、医療・介護・福祉分野の多くの関係機関と連携して支援していきます。

〈お困りごとを教えてください〉

経済面、家族関係、ケア方法など、入院前からの課題が原因で、入院する患者さんも珍しくありません。その方々が安心して退院するには、入院前のご様子や課題等の情報が欠かせません。患者さんとそのご家族、関係機関の方々から、心配事やお困りごとなど、些細なことでいいので教えていただけると幸いです。入退院支援センターは病院の窓口になり、関係機関の方々と一緒に課題解決に取り組ませていただきます。

〈地域の生活を支えます〉

病気を抱えた患者さんが安心して自宅生活を続けるためには、在宅医療や各種サービスと並んで、在宅医療を支援する病院の存在も重要です。特に医療行為が必要な患者さんは介護サービスを利用できず、介護者の負担が大きくなる場合もあります。当院は在宅医療を支える病院として、介護者の休暇のための**レスパイト入院（短期入院）にもお応えいたします**ので、是非ご相談ください。



構成スタッフ

看護師	3名（上島、酒野、藤井）
医療ソーシャルワーカー	8名（松多、松井、西川、松本、森川、池村、砂山、山本）
事務員	1名（中野）
レスパイト入院担当者	松多

お問い合わせ先 〈月～金〉8:30～17:00 〈土〉8:30～12:30（第2土休み） **TEL：076-252-2101**

データで見る 浅ノ川総合病院

昨年度、当院を受診した患者さんの数や、診療行為の実績、診療した疾患の上位などを掲載いたします。

1日平均外来患者数

552.3人

1日あたり外来を受診した
患者さんの数です

1日平均入院患者数

444.8人

1日あたりの
入院患者さんの数です

救急車搬入数（年間）

1,705件
（1日あたり4.7件）

救急車で搬入された
患者さんの数です

紹介患者数（年間）

6,903人
（1日あたり18.9人）

他の医療機関から紹介された
患者さんの数です

逆紹介患者数（年間）

4,012人
（1日あたり11.0人）

他の医療機関に紹介した
患者さんの数です

手術件数（年間）

4,771件
（1日あたり13.0件）

入院手術と外来手術を
合わせた件数です

放射線治療患者数（年間）

504人

ガンマナイフ・ノバリスによる
放射線治療を行った
患者さんの数です

透析患者数

172人

当院で透析を行っている
患者さんの数です

診療科別主要手術

診療科ごとに件数の多かった手術を表示します

眼 科 …… 白内障手術／硝子体茎離断術
増殖性硝子体網膜症手術

内 科 …… 内視鏡的大腸ポリープ切除術
内視鏡的胆道ステント留置術

外 科 …… 腹腔鏡下そけいヘルニア手術
腹腔鏡下胆のう摘出術

泌尿器科 …… 経尿道的尿管ステント留置術

整形外科 …… 骨折観血的手術（大腿）
経皮的椎体形成術

疾患別患者数ランキング

当院を退院した患者さんの数が多い順に並べています

1位 …… 白内障
2位 …… 脳腫瘍
3位 …… 大腸ポリープ
4位 …… 脳梗塞
5位 …… 誤嚥性肺炎
6位 …… てんかん
7位 …… 肺炎等
8位 …… 腎臓・尿路の感染症
9位 …… 股関節・大腿近位の骨折
10位 …… 前庭機能障害

（令和元年度実績）

地域の方々に当院についてさらに深く知っていただきたいという意味をこめて、
臨床指標や現場スタッフの声をホームページ上で公開しています。ぜひご覧ください。

医事課からのお知らせ　感染症と診療報酬について

保険医療機関（以下医療機関）は診療行為の対価として報酬を受け取ります。この報酬を診療報酬と言い、細かく公定価格が決められております。会計窓口でお支払い時にお渡しする明細書にその価格が記載されております。

この公定価格の見直しを診療報酬改定と言い、通常は2年ごとに行われますが、今回の新型コロナウイルス感染症の流行のような特殊な事情が生じた際には特例的に追加変更されます。一例として、本来は「対面診察」を原則とする処方箋の発行を、感染症拡大防止のため「電話による場合」も時限的に認めるなど、感染の拡大が非常に急速で、医療崩壊を引き起こす危険性を回避しようとした国の危機感が伺えます。

今回の新型コロナウイルス感染症だけでなく日々の院内感染防止の為の「取り組み」も診療報酬で評価されております。その代表的なものが入院患者さんを対象とする「感染防止対策加算」です。この加算には「１」と「２」という国の定めた基準があり（「１」の方が高い基準が設定されています。）、基準を満たした医療機関のみが患者さんに請求することができます。（※当院は感染防止対策加算「１」の医療機関です。）

感染防止対策加算では感染症対策の専門部門（感染対策室）の設置と専門職（感染管理認定看護師）の配置が義務付けられており、当院でも感染対策室を中心にチームを形成し、日々の感染症の制御にあたっています。

こういった専門部門の設置と活動は、感染拡大下でも救急医療や手術、出産などを途絶えさせてはいけない医療機関の社会的責任を果たす上で重要な取り組みです。明細書に記載された「感染防止対策加算１」にはこういった日々の活動があることを知っていただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症に関する寄付への御礼

当院における新型コロナウイルス感染症対策に対し、下記の方々より様々なご寄付をいただきました。皆様からのご支援に、心から感謝申し上げます。

ご寄付いただいた物資は、有効に活用させていただきます。

「石川県菓子協共同組合　金沢支部」「石川県菓子協共同組合　青年部」「石川県看護協会」「石川県看護連盟」
「いたる本店」「株式会社イケガミ」「株式会社　池田模範堂」「株式会社　加賀屋」「株式会社　金銀箔工芸さくだ」
「北陸コカ・コーラボトリング株式会社　北陸営業本部　金沢支店」「株式会社セブンイレブン・ジャパン」
「株式会社ジェイマックスシステム」「株式会社　日立製作所」「株式会社バルテック」「株式会社ぶどうの木」
「株式会社ヤクルト北陸」「コストコ野々市倉庫店」「シグマ電機株式会社」「日本看護協会」　（一部掲載）

その他、個人の方からもたくさんのご寄付をいただきました。感謝申し上げます。今後も全職員が一丸となり、安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。

お知らせ

お盆休みのお知らせ

令和2年8月15日（土）はお盆休みにつき、外来診療を休診いたします。（救急の場合は救急外来で対応します）

お問い合わせ先
広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。
TEL：076-252-2101（代）　URL：http://www.asanogawa-gh.or.jp/
メールアドレス：kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

発行／編集　医療法人社団浅ノ川　浅ノ川総合病院　広報室　〒920-8621　石川県金沢市小坂町中83番地　TEL：076-252-2101